高精細カラー版

連歌俳諧 全六巻

新天理図書館善本叢書【第五期】

室町から江戸時代にかけて成熟した「座の文芸」の精髄を高精細カラーで複製！

2020年4月刊行開始／隔月配本
全六巻セット本体予価一〇四、〇〇〇円

◉第31巻〔3回配本2020年8月〕◉第32巻〔6回配本2021年2月〕
連歌巻子本集 一・二

◉第33巻〔4回配本2020年10月〕
西鶴自筆本集

◉第34巻〔2回配本2020年6月〕
芭蕉集 自筆本・鯉屋物

◉第35巻〔1回配本2020年4月〕◉第36巻〔5回配本2020年12月〕
蕪村集 一・二

予約募集中！

＊各巻分売可

▶西鶴独吟百韻自註絵巻（第33巻）

◀奥の細道行脚之図（第34巻）

内容見本

八木書店
YAGI BOOK STORE LTD.

Shin Tenri Toshokan Zenpon Sosho Series (Part V) A high-resolution and full-color facsimile reproducing the pinnacles of Renga ("collaborative poetry"), a form of "group literature" that evolved from Muromachi through Edo periods.

連歌は、複数の作者が和歌の上の句五七五と下の句七七を交互に詠んでいく文芸で、室町時代に全盛期を迎えました。百句続ける百韻という形式が基本となります。連歌の形式から、庶民が気軽に楽しめる俳諧が生まれて江戸時代に隆盛を極め、やがて近代の俳句へとつながります。

◉第31巻〔解題〕尾崎千佳（山口大学准教授）

連歌巻子本集 一

A4判横本・約二八〇頁・本体予価三五、〇〇〇円

1 集百句之連歌　文明元年（一四六九）　能阿自筆
2 賦唐何連歌百韻　文明十九年（一四八七）　実隆自筆
3 賦何人連歌百韻　長享二年（一四八八）　伝宗長筆
4 賦山何連歌百韻　天文三年（一五三四）
5 賦浄土要文連歌百韻　天文十七年（一五四八）　紹巴筆
6 賦何人連歌百韻　天文二十年（一五五一）
7 近衛稙家恵雲院追善連歌百韻　永禄九年（一五六六）　紹巴自筆
8 賦何路連歌百韻　永禄十年（一五六七）　紹巴筆
9 賦何船連歌百韻　永禄十二年（一五六九）　紹巴筆
10 賦何船連歌百韻　永禄十三年（一五七〇）　昌叱筆
11 賦山何連歌百韻　元亀二年（一五七一）　紹巴筆
12 賦何船連歌百韻　天正三年（一五七五）　紹巴筆

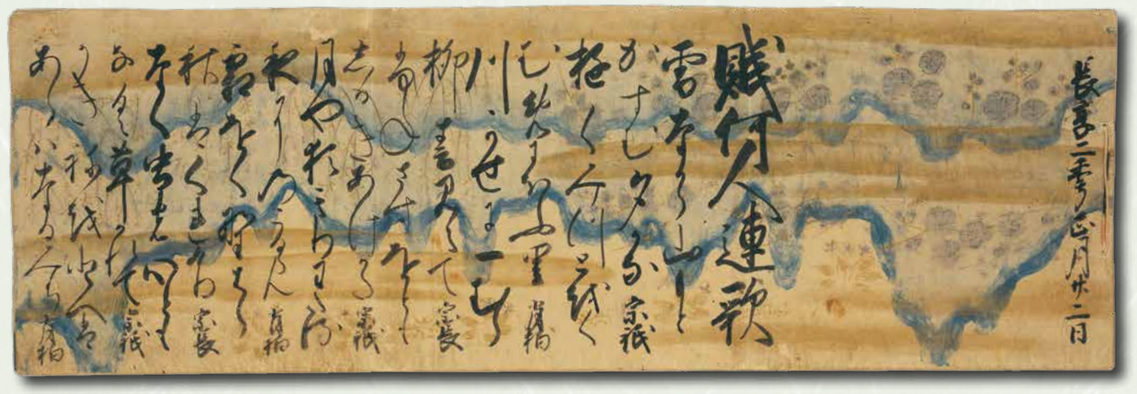
◉第32巻〔解題〕尾崎千佳

連歌巻子本集 二

A4判横本・約三〇〇頁・本体予価三六、〇〇〇円

1 経文之連歌百韻　天正七年（一五七九）　昌叱自筆
2 賦何人連歌百韻　天正九年（一五八一）　藤孝筆
3 賦何垣連歌百韻　天正十年（一五八二）　紹巴筆
4 夢想之連歌百韻　天正十年（一五八二）　紹巴筆
5 賦何人連歌百韻　天正十五年（一五八七）　紹巴筆
6 賦何木連歌百韻　天正十五年（一五八七）　紹巴筆
7 賦初何連歌百韻　天正十六年（一五八八）　紹巴筆
8 賦初何連歌百韻　天正十九年（一五九一）　紹巴筆
9 賦何船連歌百韻　天正二十年（一五九二）　紹巴筆
10 初学用捨抄　紹巴筆
11 賦山何連歌百韻　慶長二十年（一六一五）　紹巴筆
12 賦何牆連歌百韻　明暦二年（一六五六）　宗因自筆

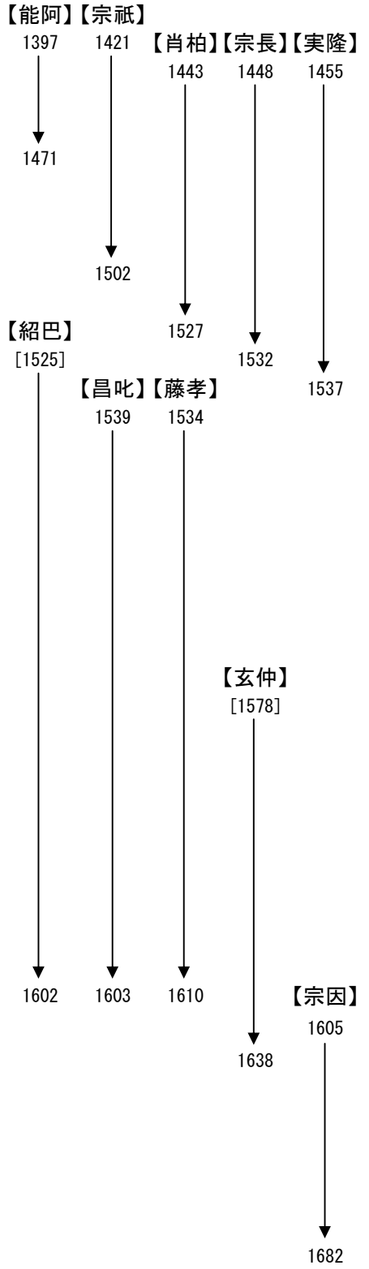
▲31-1 **集百句之連歌**　室町幕府の将軍足利義教や義政に仕え、絵の才能にも優れた能阿が、自作の連歌100句を書写した自筆句集。藍打曇紙に金銀泥で下絵を描いた料紙は、室町時代の工芸装飾紙の粋を尽くしたもの。



▲31-3 **賦何人連歌百韻**　「水無瀬三吟」の通称で知られる室町連歌の代表的百韻で、宗祇とその高弟肖柏・宗長による作品。本書は水無瀬御影堂に奉納された原懐紙か。懐紙三ツ折原装のまま伝来。

新天理図書館善本叢書収録連歌の年代・連歌師一覧

収録巻-番号	資料名	書写年次等（★は近年新収の新出資料）
31 － 1	集百句之連歌	文明元年8月15日　能阿自筆
31 － 2	賦唐何連歌百韻	文明19年6月25日　実隆自筆
★31 － 3	賦何人連歌百韻	長享2年正月22日　伝宗長筆
31 － 4	賦山何連歌百韻	天文3年2月27日
31 － 5	賦浄土要文連歌百韻	天文17年6月9日
★31 － 6	賦何人連歌百韻	天文20年9月12日　紹巴筆
★31 － 7	近衛稙家恵雲院追善連歌百韻	永禄9年　紹巴自筆
31 － 8	賦何路連歌百韻	永禄10年7月9日　紹巴筆
★31 － 9	賦何船連歌百韻	永禄12年閏5月28日　紹巴筆
31 － 10	賦何船連歌百韻	永禄13年3月21日　昌叱筆
★32 － 10	初学用捨抄	［永禄期頃写］紹巴筆
★31 － 11	賦山何連歌百韻	元亀2年2月23日　紹巴筆
31 － 12	賦何船連歌百韻	天正3年9月15日　紹巴筆
32 － 1	経文之連歌百韻	天正7年4月13日　昌叱自筆
32 － 2	賦何人連歌百韻	天正9年3月16日　藤孝筆
32 － 3	賦何垣連歌百韻	天正10年6月26日　紹巴筆
32 － 4	夢想之連歌百韻	天正10年8月18日　紹巴筆
★32 － 5	賦何人連歌百韻	天正15年3月7日　紹巴筆
32 － 6	賦何木連歌百韻	天正15年6月24日　紹巴筆
★32 － 7	賦初何連歌百韻	天正16年11月13日　紹巴筆
★32 － 8	賦初何連歌百韻	天正19年11月24日　紹巴筆
32 － 9	賦何船連歌百韻	天正20年11月24日　紹巴筆
★32 － 11	賦山何連歌百韻	慶長20年3月吉日　玄仲筆
★32 － 12	賦何牆連歌百韻	明暦2年2月18日　宗因自筆



【能阿】能阿弥。室町中期の連歌師・画家。将軍足利義教や義政に仕え、書画の鑑定に精通。連歌七賢の一人。

【宗祇】室町後期の連歌師・古典学者。公家・幕府要人と親交、各地の大名にも連歌を指導、連歌黄金時代を築く。

【肖柏】室町後期の連歌師・歌人。中院通淳の息で、宗祇の高弟。和歌・連歌・物語に関する多くの編著がある。

【宗長】室町後期の連歌師。宗祇の高弟でその地位を継ぎ、駿河の今川氏には文事のみならず政治的にも奉仕した。

【実隆】三条西。室町後期の廷臣。地下連歌師と親しく交際。宗祇から受けた古今伝授は三条西家家学の礎となる。

【紹巴】室町末期の連歌師。信長・光秀・秀吉等の戦国武将と親交を結び、活発な連歌活動と併せ政治的にも活躍。

【昌叱】室町末期の連歌師。父昌休の門人紹巴に連歌を学び、織豊期の代表的連歌師として活躍。里村南家の祖。

【藤孝】細川幽斎。信長・秀吉・家康に仕えた室町末期の武将で、和歌・連歌をはじめとする諸学芸に精通した。

【玄仲】室町末～江戸初期の連歌師。紹巴の次男。江戸に住み、徳川幕府の連歌師をつとめた。

【宗因】江戸前期の連歌師・俳諧師。肥後加藤家の臣から連歌師に転身し、俳諧では西鶴・芭蕉にも影響を与えた。

『好色一代男』をはじめ浮世草子の作者と知られる西鶴は、当初、俳諧師として名を成し活躍していました。晩年の名品『西鶴独吟百韻自註絵巻』をはじめ、句集、自画賛、短冊、書簡等の自筆資料を収録します。

◉第33巻　〔解題〕大橋正叙（天理大学名誉教授）

西鶴自筆本集

A4判横本・約二二〇頁・本体予価三三、〇〇〇円

1 俳諧之口伝　延宝五年（一六七七）
2 胴骨三百韻　延宝六年（一六七八）
3 西鶴評点政昌等三吟百韻巻　〔天和頃か〕
4 夢想之俳諧　天和三年（一六八三）
5 西鶴独吟百韻自註絵巻　元禄五年（一六九二）

【画賛】
6 世継翁画賛／7「神の梅」発句画賛
8「大ふりや」発句画賛／9「塩浜や」発句画賛
10「梅に鶯」画賛／11磯崎松画賛
12 西鶴・才麿画賛

【短冊】
13「父ハ花」発句短冊／14「穴師吹」発句短冊
15「餅花や」発句短冊／16「夜のにしき」発句短冊
17「御詠歌や」発句短冊／18「軒下の」発句短冊
19「花を雪に」発句短冊／20「長持に」発句短冊
21「角樽を」発句短冊／22「鯛ハ花ハ」発句短冊

【書簡】
23 西鶴書簡　下里勘兵衛宛　延宝七年（一六七九）三月二十二日
24 西鶴書簡包紙　下里勘兵衛宛
25 大矢数成就文　下里勘州宛　延宝八年（一六八〇）六月二十日付
26 西鶴書簡　下里寂照宛　貞享元年（一六八四）八月二十八日付

▶33-22「鯛ハ花ハ」発句短冊

◀33-6 世継翁画賛

◀33-26 西鶴書簡　下里寂照宛

影印本文見本（A4判横）

鯉屋物と称される芭蕉関係資料三十五点をすべて収録します。芭蕉の門人であり江戸での経済的支援者でもあった杉山杉風の屋号である鯉屋に由来し、特に芭蕉自筆資料は、伝来の確かな真蹟として注目されるコレクションです。他に、芭蕉生前に描かれた「奥の細道行脚之図」、紀行文、句集、書簡などの自筆資料を収録します。

◉第34巻 〔解題〕大橋正叔

芭蕉集 自筆本・鯉屋物

A4判横本・約二一〇頁・本体予価三二、〇〇〇円

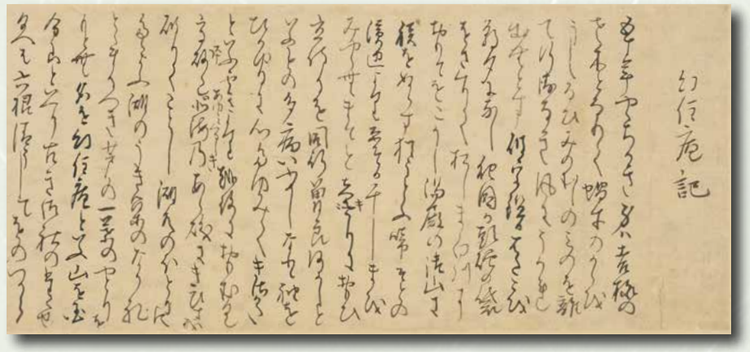
1 奥の細道行脚之図　元禄六年（一六九三）　許六画
2 野ざらし紀行（鯉屋物）　貞享四年（一六八七）
3 鹿島紀行（鯉屋物）　貞享四年（一六八七）
4 あつめ句（鯉屋物）
5 梅雀 桐葉 両吟歌僊俳諧
6 「能家や」詠草稿
7 幻住庵記　許六自筆
8 癸酉紀行

【書簡】
9 芭蕉書簡　宗七宛
10 芭蕉書簡　曲翠宛
11 芭蕉書簡　雪芝宛
12 鯉屋物
「ひとつぬきて」発句短冊・「ほろほろと」発句画賛・「葛の葉の」発句自画賛・「朝顔に」発句画賛・「あかあかと」発句自画賛・「みのむしの」発句画賛・蓑虫説・蓑虫説跋・歳旦発句短冊集・「鉢たゝき」発句自画賛・「愚に闇ク」発句短冊・祝商山「はま弓や」発句詠草・夏三句詠草・初秋七日の雨星を弔ふ句文・「月雪と」発句短冊・素堂寿母七十七賀句・桃隣書簡・萩鹿図・「観音の」発句懐紙・芭蕉翁馬上吟図・芭蕉画竹図・述懐の句文・松飾自画賛・支考書簡・芭蕉脇息図・「はつ雪や」発句色紙・枯木鹿自画賛・蓑虫説跋草稿・四山瓢銘・富嶽遠望図・葡萄栗鼠図・稲穂図草枕句文・一輪牡丹図・鯉屋伝来預リ品書（参考）

◀34-12-10「鉢たゝき」発句自画賛

◀34-12-1「ひとつぬきて」発句短冊（芭蕉自筆・颿翅画）

◀34-12-2「ほろほろと」発句画賛（芭蕉賛・許六画）



◀34-7幻住庵記（芭蕉自筆）

江戸時代中期の俳人蕪村は、夜半亭宋阿に俳諧を学び、のちに夜半亭を継承し俳諧宗匠となります。「芭蕉に帰れ」と唱え、蕉風復興運動の中心人物となり、また文人画家として独自の画風を極め、同時代の池大雅とともに活躍しました。天理図書館では近年、これまで所在が知られていなかった『夜半亭蕪村句集』を新たに収蔵、未知の二一二句が含まれていることが判明し、各紙で大きく報道されました。経済的支援者で門人でもあった寺村百池の家に伝来したそれらの新出資料を収録します。

◉第35巻 〔解題〕牛見正和（天理図書館）

蕪村集 一

B5判・約四二〇頁・本体予価三六、〇〇〇円

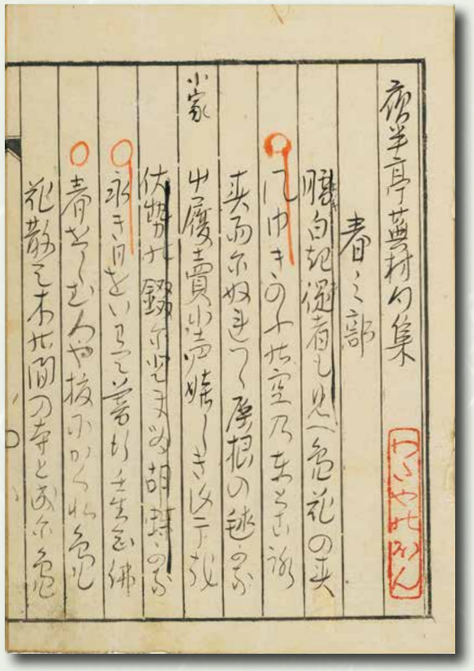
1 夏より　三菓社中句集　明和三・五～七年（一七六六・六八～七〇）
2 高徳院発句会　明和七・八年（一七七〇・七一）
3 月並発句帖　安永三～六年（一七七四～七七）・天明三年（一七八三）
4 取句法　明和七年（一七七〇）写
5 花頂山中高徳院発句会「時雨」句　明和八年（一七七一）

◉第36巻 〔解題〕牛見正和

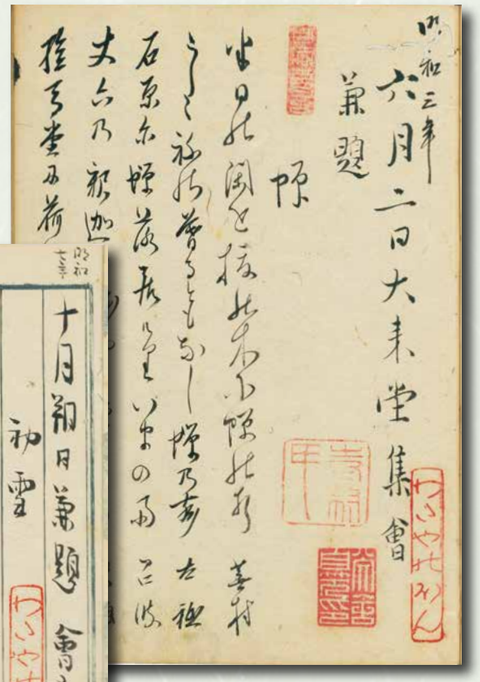
蕪村集 二

夜半亭蕪村句集　安永・天明（一七七二～八九）頃

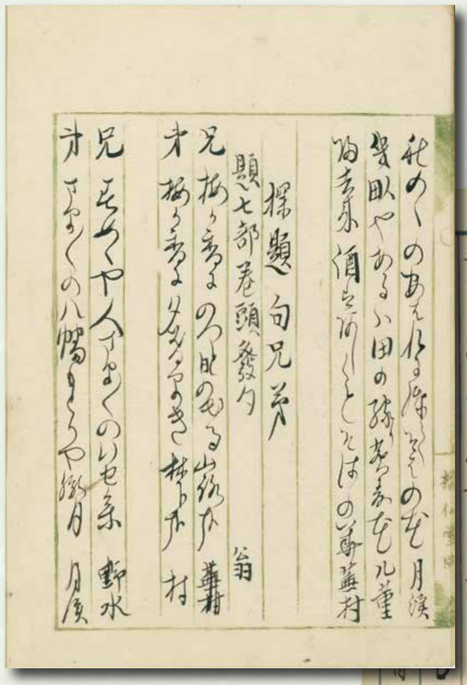
B5判・約二八〇頁・本体予価三二、〇〇〇円



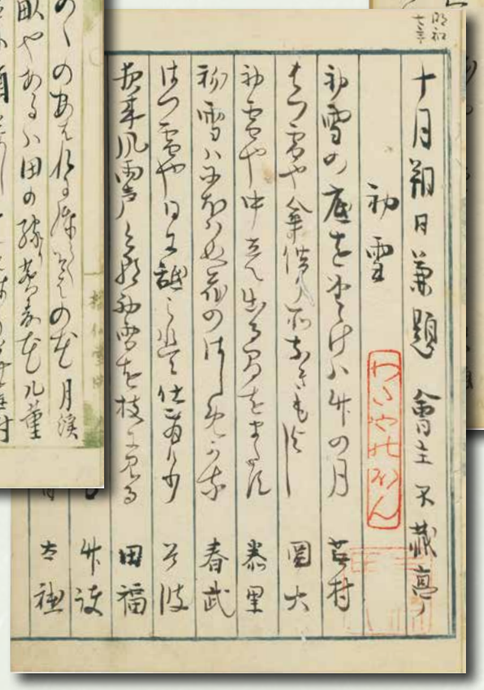
▲36 夜半亭蕪村句集



▲35-1 夏より　三菓社中句集



▲35-3 月並発句帖



▲35-2 高徳院発句会

新天理図書館善本叢書【第５期 連歌俳諧 全６巻】刊行開始！

第５期 連歌俳諧 全６巻

● 2020年４月刊行開始！

ISBN978-4-8406-9595-4（セット）

● 造本

A4判横・B5判／上製本
クロス装／貼函入／平均280頁
＊A4判横：第31～34巻
＊B5判：第35・36巻

● 製版・印刷

イクオス・スーパーセル260線
ハイブリッドUVシステム

● 定価　第５期全６巻セット予価
（本体204,000円＋税）
第５期平均予価
（本体34,000円＋税）

【第５期配本予定】※隔月配本

第１回配本〔2020年４月〕
第35巻 蕪村集 一
B5判・約四二〇頁・本体予価三六、〇〇〇円

第２回配本〔2020年６月〕
第34巻 芭蕉集 自筆本・鯉屋物
A4判横本・約二一〇頁・本体予価三二、〇〇〇円

第３回配本〔2020年８月〕
第31巻 連歌巻子本集 一
A4判横本・約二八〇頁・本体予価三五、〇〇〇円

第４回配本〔2020年10月〕
第33巻 西鶴自筆本集
A4判横本・約二二〇頁・本体予価三三、〇〇〇円

第５回配本〔2020年12月〕
第36巻 蕪村集 二
B5判・約二八〇頁・本体予価三二、〇〇〇円

第６回配本〔2021年２月〕
第32巻 連歌巻子本集 二
A4判横本・約三〇〇頁・本体予価三六、〇〇〇円

【高精細カラー版】古典研究者・図書館必備の新シリーズ！　●各巻分売可

第１期 国史古記録 全６巻 ●揃定価（本体165,000円＋税）

●好評発売中！

①古事記 道果本（重文）・播磨国風土記（国宝）／②③日本書紀 乾元本（国宝）／④古語拾遺 嘉禄本・暦仁本（重文）／⑤明月記（重文他）／⑥定家筆古記録（重文他）

第２期 古辞書 全６巻 ●揃定価（本体227,000円＋税）

●好評発売中！

⑦和名類聚抄 高山寺本（重文）／⑧三宝類字集 高山寺本（重文）／⑨～⑪類聚名義抄 観智院本（国宝）／⑫世俗諺文・作文大躰（重文）

第３期 源氏物語 池田本 全10巻 ●揃定価（本体344,000円＋税）

●好評発売中！

⑬～㉒源氏物語 池田本（重文）：源氏物語鎌倉写本中、成立当初の基幹巻を最も多く保持（52巻のうち48巻）。定家本（青表紙本）系統諸本中の最重要古写本。

第４期 奈良絵本集 全８巻 ●揃定価（本体268,000円＋税）

●好評発売中！

㉓～㉚奈良絵本集：伝本の稀な室町末期から江戸極初期までの逸品に加え、多彩な作品群の中から優品24点を精選。高精細カラー版で微細な色遣いが一目瞭然。

【発売】八木書店
YAGI BOOK STORE LTD.
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-8　● E-mail　pub@books-yagi.co.jp
● TEL　03-3291-2961［営業］　03-3291-2969［編集］　● FAX　03-3291-6300
● Web　https://catalogue.books-yagi.co.jp/
〔2020.3.TP.20,000〕